

左心房内心エコーで測定した両下肺静脈共通幹の心筋壁厚と、それを基にしたカテーテルアブレーションの治療戦略についての研究

済生会熊本病院では、医学の発展のため患者さんの診療情報等を使用し、本研究を実施しております。ご質問や利用停止等のお申し出は、「問い合わせ先」へご連絡下さい。

研究の目的と方法

両下肺静脈共通幹形態の頻度は非常に稀とされていますが、通常のカテーテルアブレーションによる肺静脈隔離術の方式では食道左房瘻の合併症のリスクが若干高いのではないかと予想されています。そのため、当院でのこの形態の頻度と、合併症のリスクの高さがどの程度か検証するために、心筋の壁厚を比較し、通常肺静脈隔離術の方式でのリスクを検証します。診療を通じて得られた情報を使用しますので、新たな検査や調査をお願いすることはありません。

研究の対象となる方

2020年7月～2022年6月に当院で心房細動に対するカテーテルアブレーション治療を受けられた方

使用する試料・情報

心腔内超音波を用いた食道の接する部位の心筋壁厚

研究予定期間

2023年5月10日～2023年6月1日

個人情報の取り扱い

研究情報は、許可された研究者のみが使用します。研究成果を学会等で発表予定ですが、個人が特定されないよう氏名等を削除した情報や集計結果を用いますので、プライバシーは守られます。

[研究の情報管理責任者] 循環器内科 根岸耕大

[当院の個人情報管理責任者] 院長 中尾浩一

研究への協力について

研究目的にご自身の診療情報等を利用されることを希望されない場合は、研究対象とせず、利用を停止すると共に、収集した情報等も可能な限り削除します。本研究への協力は患者さん治療とは関係が無く、ご協力いただけない場合も患者さんに不利益が生じることはありません。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、関連資料を閲覧することが出来ます。

問い合わせ先

済生会熊本病院 循環器内科 根岸耕大

住所：熊本市南区近見5丁目3番1号 電話：096-351-8000(代表)